

発議第6号

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、つくばみらい市議会会議規則第13条第2項の規定により提出します。

令和3年8月23日提出

つくばみらい市議会議長 伊藤 正実 様

提出者 つくばみらい市議会議員 高木 寛房

賛成者 つくばみらい市議会議員 横田 透

賛成者 つくばみらい市議会議員 豊島 葵

賛成者 つくばみらい市議会議員 今川 英明

賛成者 つくばみらい市議会議員 古川 よし枝

賛成者 つくばみらい市議会議員 中山 栄一

賛成者 つくばみらい市議会議員 染谷 礼子

賛成者 つくばみらい市議会議員 鐘ヶ江 礼生奈

提案理由

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面しています。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源が求められています。その財源確保のため、地方税制の充実確保を強く望むものです。